

事務事業名		市内県立高等学校後援会補助事業		所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育推進室		
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>		所属G	キャリア教育推進G	課長名	飛田 博志		
	施策名	(27)学校教育の充実		担当者名	福島 勇樹	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2243		
	目的	対象	意図	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	事務局総務管理事業
	目的	対象	意図	項目	015002	051062	中事業名	市内高校後援会等補助金	
		小学校の児童・中学校の生徒	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。						
		児童・生徒	地域の力を活かして学ぶ。						

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
魅力ある高等学校づくりを通じて市の教育振興及び地域振興を図ることを目的に市内高等学校後援会が行う事業に補助を行う。
補助対象事業
① 学校振興に関する事業
② 部活動等特色ある教育の推進に関する事業
③ 通学環境の支援に関する事業(寮費・下宿費の月額3万円を超える経費について1万円を上限とし補助)
④ その他市長が必要と認める事業
※H30年度より、教育総務課からキャリア教育推進室へ事務移管

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) 各高等学校後援会より補助金交付申請書・概算払申請書・実績報告書の提出 市より補助金等交付決定通知書・確定通知書の通知	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 各高等学校後援会より補助金交付申請書・概算払申請書・実績報告書の提出 市より補助金等交付決定通知書・確定通知書の通知			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 補助金交付件数	件	3	6	7	6
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	島根県立大東高等学校後援会、生徒 島根県立三刀屋高等学校後援会、生徒 島根県立三刀屋高等学校掛合分校後援会、生徒	ア 生徒数	人	834	827	804	820
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	島根県立大東高等学校、三刀屋高等学校、三刀屋高等学校掛合分校の教育活動に関し、必要な支援を行い、特色ある教育の実践を目指す。	ア ふるさとが好きな高校3年生の割合	%	89.0	90.3	92.7	94.0
		イ 将来雲南市で働きたいと思う高校3年生の割合	%	57.0	53.7	54.4	60.0
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
【大東高校:5,162千円】 ② 特色ある教育推進(備品購入):522千円 ③ 通学環境支援:2,640千円(耕心寮修繕、通学助成) ④ 創立百周年記念:2,000千円(式典、講演等) 【三刀屋高校:3,208千円】 ② 特色ある教育推進(備品購入):628千円 ③ 通学環境支援:2,580千円 【三刀屋高校掛合分校:1,078千円】 ① 学校振興(事務員賃金等):850千円 ② 特色ある教育推進(海外研修):228千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円			2,030	3,960
	一般財源	千円	4,729	5,394	7,418	2,288
	事業費計(A)	千円	4,729	5,394	9,448	6,248
	人件費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	5	10	20	
	延べ業務時間	千円	20	41	87	
	人件費計(B)	千円	4,749	5,435	9,535	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
市が進める「人口の社会増」の施策の一環として高校と連携を図る必要がある。特に通学環境の整備については近隣自治体でも通学バスの運行・寮費助成についての制度があり、高校の生徒数確保、地域の活力保持につながっている。	H28年度より補助金交付要綱を見直し、教育活動、部活動、通学環境支援についての支援を行うこととした。 掛合分校の海外研修に対する補助は、他校との公平性の観点から平成30年度から減額し、令和元年度をもって終了することとした。	市外からの入学希望者について寮費・下宿代を助成する制度についての要望が地域や高校関係者からあり、H28年度から事業化した。

事務事業名	市内県立高等学校後援会補助事業	所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育推進室
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 限られた補助額の中で教育環境の整備・充実が図られているが、高校に対して行っている他の事業との連携を行うことで補助目的が明確化され当該事業の成果向上につながる	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 特色ある教育活動や部活動の充実のために助成しており、廃止、休止した場合は生徒数の減、高校存続への影響が見込まれる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	理由 雲南市教育魅力化推進事業、雲南市教育魅力化推進協議会予算との連携 高校魅力化にかかる事業と連携することができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 教育環境向上のみならず高校魅力化事業をあわせて進めることで事業費の削減につながる。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 補助金申請受付から確定までの事務は規定のものであるため、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 市内高校3校全てに助成をしており、公平・公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 教育魅力化推進事業等と連携を取ることで事業の効果的推進が期待できる。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>高校への補助金については、市が進める高校魅力化とタイアップした内容についての助成が望ましいと考える。高校側の要望も聞いた上で高校の魅力化に繋がる補助金になるよう引き続き意見交換をしていきたい。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		